



別府市消防団

自らの地域は自らで守る。

火災・風水害・地震など災害時に地域を守るのが、消防団です。別府市では、消防団員が減少し、各地域の分団運営が厳しい状況です。そのため、多くの人の入団をお待ちしています。特に、若いあなたの力を必要としています。ボランティア活動に興味のある人、地域に貢献したい人、消防団に参加してみませんか。

地域の防災リーダー

消防団は、消防署と共に火災や災害への対応、予防啓発運動などを行う、消防組織法に基づいた消防組織です。

普段はそれぞれの職業を持ちながらも、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神をもって活動しています。

市内で火災や自然災害が発生した場合、消防ポンプ自動車や可搬消防ポンプ積載車で出動し、消火活動などをを行います。

現在、別府市には21の分団が存在し、入団時のお住まいの地区などに合わせ、

それぞれの分団に配属されます。

中には、広報を中心とした女性分団や、安全・確実に迅速に行動するために定められた消防用機械器具の取り扱いと操作の基本技術を競い合う全国消防操法大会に出場する分団もあります。

その他、春と秋の火災予防運動や毎年1月初旬に開催する消防出初式などの各種イベントにも参加し、防火防災の啓発運動などにも取り組めます。

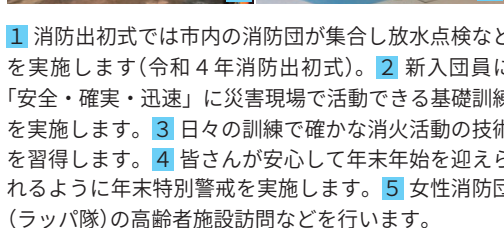
また、消防団員は、非常勤特別職の地方公務員です。消防団活動に必要な被服(制服や法被)などは貸与され、年額報酬と災害や

訓練などに出勤した場合に手当を支給します(5年以上在籍し退職した場合、退職報償金も支給)。

消防団活動中の負傷については、損害補償もあります。

消防団は、まちを守るという強い奉仕の精神をもった組織であり、ボランティアとしての要素が強いですが、その献身的な活動に報いるため、また、安心して消防団活動を行ってもらえるよう、報酬や補償などが制度化されています。

近年、消防団員数は全国的に減少傾向にあり、本市においても少子高齢化やサラリーマン化(自営業以外の人々の増加)などにより、



1 消防出初式では市内の消防団が集し放水点検などを実施します(令和4年消防出初式)。2 新入団員に「安全・確実・迅速」に災害現場で活動できる基礎訓練を実施します。3 日々の訓練で確かな消火活動の技術を習得します。4 皆さんが安心して年末年始を迎えられるように年末特別警戒を実施します。5 女性消防団(ラッパ隊)の高齢者施設訪問などを行います。

一番大事なのは、「絆」

火災被害を最小限に食い止める任務を達成した時などは「地域を守れた」という達成感があります。

そして、消防団の活動は特殊なため、家族の理解も必要です。第6分団では、団員や団員の家族とはよく会話をし、家族ぐるみでお付き合いをしています。一番大事なのは、「絆」だと思います。

▶「第6分団をもっと良くしていきたい」と力強く語ってくださいました。



別府市消防団
第6分団 分団長
澤井 伸一 さん

平成5年8月に消防団へ入団。家族の理解と協力のもと消防活動を続け、今年入団29年目を迎えた。今年4月、分団長に就任。



定員数500人に対し実員408人(令和4年4月1日)と定員割れの状況です。そこで、「人の役に立ちたい」、「自分の力で地域を守りたい」そんな情熱を持った人を求めています。

地域の「消防団員」として一緒に活動しませんか。

別府市に居住または市内に通勤・通学している人で年齢が18歳以上の心身ともに健康な人なら誰でも入団できます。また、外国籍の人でも入団できます。
※詳細は、下記へお問い合わせください。



別府市消防本部庶務課 ☎25-1123